

知事コメント

第8回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催するにあたり、ごあいさつを申し上げます。

本日は新たに8名の感染が確認されました。これにより県内の患者数は56名となりました。内訳は、20代男性1名、30代女性1名、50代女性1名、60代男性1名、70代男性1名女性3名です。患者についての詳細な情報は、のちほど保健医療部でブリーフィングをさせていただきます。

県内では本日までに56名の患者が確認され、このうち既に入院勧告が解除された方は昨日新たに解除されて2名を加えて5名となり、残りの方々は感染症指定医療機関及び協力医療機関に入院中という状況です。特に患者の増加スピードが速い中南部圏域で入院ベッドの確保が難しい状況が続いております。

そこで県では昨日新型コロナウイルスの診療にあたっている医療機関の方々と意見交換を行いました。その中では医療機関のスタッフは感染予防に細心の注意を払いながら献身的に治療にあたっていることや、増加する感染症患者を受け入れるためにかなり無理をして一般の病棟を空ける努力をされていることが報告されました。

また、現在医療機関に入院している比較的軽症の患者が療養するための宿泊施設の確保を急ぐようにとの要望が出されました。

県としましては、新たに設置した総括情報部の外来・入院調整センターにおいて、医療機関との情報交換をタイムリーに行い入院患者の調整等を図っていく体制を構築したところです。また、軽症患者に療養していただくホテルとの調整を急ぎ、早急に確保できるよう努めていきます。

一方、残念なことに昨日の会議では、このように精力的に取り組んでいる医療現場に対して、偏見やバッシングが行われている状況も報告されました。県民の皆さまに私からのお願いです。感染者や医療従事者に対する偏見や差別を行わず、医療現場でコロナウイルス患者を治療しているスタッフが安心して診療に専念できるように応援するような気持ちを持って頂きたいと思います。

また、医療や介護従事者等、仕事を休むことが難しい保護者が安心して業務にあたるには、そのお子さんたちに継続的に保育が提供されることが重要です。

市町村においては、このような状況を踏まえ、必要な保育を提供できるようつとめるとともに、一般県民の皆さまにおかれましては、市町村からの要請等も確認のうえ、ご自宅での保育が可能なご家庭にあっては、家庭保育へのご協力をお願い申し上げます。

県民の皆さまにおかれましては、個人でできる予防対策として、石けんを使った手洗いとうがいの励行、アルコールを用いた手指の消毒、マスクの着用、睡眠や食事を規則正しくとって免疫力を落とさないようにすること、咳エチケットの実施などをしっかりと行って下さい。

そして、今後の感染拡大を抑えるためには、この1～2週間が大変重要な時期であると認識しております。『おうちにいよう！ stay home！』

県民の皆さまには、引き続き、不要不急の外出自粛をお願いいたします。特に「密閉空間」「密集場所」「密接場面」になりやすい夜間の会食等への参加は控えていただき、新型コロナを他人に「うつさない」、自分自身が「うつらない」、そして沖縄の医療体制を「つぶさない」を徹底することをお願いいたします。